

2024年1月
足立法人会 女性部会
嶋田久栄

フードロス削減活動について

足立法人会 女性部会では年間活動事業のひとつとして「フードロス削減」を掲げ、この活動を賀詞交歓会パーティーで実施させていただきました。

この活動は、「SDGs」の12番目の目標「つくる責任、つかう責任」から発しており、世界で生産される食糧の3分の1が捨てられている状況を半分に減らそうというものです。

パーティーはビュッフェスタイルで、参加者皆様には各々の「好み」「適量」でお食事を自由にスマートに楽しんでいただけるよう、主催者としては「堅苦しい押し付けにならない」「スマート」を心掛けました。

まずは、食事コーナーの混雑緩和を避けるため、コーナーを同種類のメニューで左右対称に2か所に配置しました。また、食べ残しを少しでも減らす工夫として参加者の皆様には自分のお皿を何度も使い回していただく方法をとりました。

そこで全員が同じ取り皿を使用するため、間違えのないよう事前に目印の付箋を配布して自分のお皿に付けていただくようにしました。

歓談中は、会場内のお食事の進行状況を見つつ司会から「食べるのが活動成功への近道」などとお声掛けもさせていただきました。気が付けば多くの方々がグラスにも目印を付けられていたので、徹底ぶりにはコロナの経験が影響しているようにも見受けられました。目印の効果は自分のお皿への意識、責任に繋がったようで、現場では食べ残しの少なさを実感できました。

結果として、ホテルからの報告のとおり廃棄率が通常と同規模の会の数値を下回り20%を切る優秀な結果を得られたことができたので、今回の初の試みは参加者皆様、関係各位皆様のご理解とご協力により十分な成果を得られたと思います。

まだまだ反省すべき点はあると思いますが、一人ひとりの心がけを徹底することにより、このような活動が当たり前の日常となるようこれからも創意工夫を続けてまいりたいと思います。

以上